

# 幼稚園の遊具

(四)

東京女子高等師範學校教授

佐々木 等

一  
幼児の精神の發育狀況が遊具に對する具體的な行動上に大なる關係のあるさいふこまがわかるこま、思はれるのであります。

彼のお人形について幼児がどんなに興味を感じるものがありますか、これに對しては私よりも皆様の方が遙かに澤山の經驗を持つて居られるこま、信するのであります、私の狭い經驗から申しますと、幼児の精神教育は何さいつても幼稚なものでありますから、大人が考へるお人形さいふ完全無缺な形態を考へては居ないのであります。

従つてお人形を大人が考へて之れは申分のないものであると折紙をつけたところのものよりも、眼もない、手の指も、足の指もない只お人形の恰好丈けたものを幼児は寧ろ好んで大事にするさいふこまを申上げたいのであります。

其處が大人と幼児のお人形に對する觀點が違ふのでありまして、これは一に精神教育に起因するものさいふべきであります、此様なこまを目前に見せつけられます、幼児の遊具さいふものは完全無缺なものに大人が考へたものよりも、不完全なものでもよいではないか、言はず原始的な、素朴的な、自然的なものが幼児の遊具として適して居るさいつてもよいではないか、前々號かに登樺のこまを申上しましたが、あれなごも自然木を得られない都會地さか平原地さかの子供達に止むを得ないものとして工夫されたものであります、自然木の澤山ある山村等に於ては寧ろ無用の長物さいつてよいものであります。

元々登樺の創意は、自然木から來たのであります。斯様なわけでお人形にしたところで、實物があれば何も泥や布で作つたものが必要ないであります、前述せる様に幼

兒は精神の教育が不十分なものでありますから實物の赤ん坊でも與へ様ものなら彼等は眼を突いたり耳を引張つたり大變なこゝにして仕舞ふから、こうしたものは、赤ん坊に擬へて作つたお人形なごに代用せしめるこゝがよいのであります。しかし其他のものは成るべく實物に近い即ち、自然に近いものゝ方がよいと思ふ。その意味に於て、眼も、耳も、鼻も、口も具へたお人形がよいわけではあります。彼等は精神教育不十分なこゝから完全なるものでなくとも、完全なるものゝ考へてそれを持つて遊ぶさいふ様なものではないでせうか。

又彼等に完全なものを與へるよりも、幾分不完全なものを與へる方が、自然と違ふではないか、さうして比のお人形に眼がないだらうさか、口がないだらうさか、想像力を發動せしめるこゝになるのではないか、即ち不完全なものゝ與へたが爲めに却つて精神の教育を促進するさいふ結果になるのではないか、此處に教育的な意味がありそうなのであります。

## 二

ペン先の工合で期節向でないお人形のこゝなごを述べましたが、皆様を幼兒と考へてペンを走らした譯でもありませんから何卒お怒りのない様にお願致したいと思ひます。尤、お怒りになられた方が私には好都合なのであります。

て、原稿を書かなくて済みますから大變氣樂になつて參りますが、そんな意味で書いて居るのではありませんこゝを御了解願ひたいと思ひます。

飛繩 さて季節向の遊具として何を擧げたらよいものやら昔日見當がつきませんが、最も素朴なものとして飛繩を推奨したいと思ふのであります。しかし、この飛繩なごはこゝの昔から用ひて居られるこゝと思ひますが、私は運動の方面から殊に、冬の寒い季節に行ふ幼兒の運動として述べるのであります。

此の時代の繩跳は自分で廻はして跳ぶさいふこゝよりも、お友達を持つて居るのを跳ぶさいふ方がよいと思ふ。

その繩跳の繩は、ゴム繩が彼等に最も好まれるこゝのものであります。今日ではそれが得られないから、田舎なれば藁によつてつくつた繩か、何か緒でもよいのであります。その長さは三米位を適當とせしませう。

その繩を塵埃のたゝないこゝで揺り動かしてそれを跳ばせるがよい。この遊は、至極簡單の様であります。運動から見まする三種々の要素が含まれて居るのであります。

一般に子供達は大波小波と稱して居ります。幼兒には大波は無理であつて、小波の方が適當して居るであります。身體支配の能力の低い時代の此遊は、自分の位の判斷が必要であります。繩から遠い位置の時は容易にその繩を

跳越せない。又、繩は或律に動いて居る。その律によく乗れない時は跳べないことになる。

低い高さの繩を跳ぶといふ丈けのものでありますが、彼等は眞剣そのものであります。即ち全靈を此の繩を跳ぶといふことに打込んで行動するのであります。即ち、精神の統一を自然的にはかつて居るのであります。かくして全身の調和的發達が此の繩跳によつて期待されるのであります。

一般に跳躍力の強いといふことは其の健康度を卜するこゝさが出来るなき、言つて居りますが、これは大した問題でないかも知れませんが、跳躍力の強いといふことは結局身體の移動力の強いといふことになるかも知れませんが。従つて、それだけ、元氣なわけになるのであります。

そういふ意味から、幼児の繩跳なごも出来る丈けやらして見たいと思ふのであります。そして子供達は好んで行ふものなのであります。只前にも一寸述べましたが、塵埃の立たない場所か、塵埃の立たない様に工夫することを忘れたり、意つたりしてはいけません。

それはあまりにもわかり切つた衛生上の問題で、教育的な意味で、國家的の見地から問題となるのであります。

以上は幼児の遊具としてあまりにも單純なものであります。體育的な價値は十分に認められるところのものであるのであります。

殊に寒い季節になるに、全身的の運動によつて暖を取る必要があるからです。こうした素朴な運動によつて、全身の調和的發達を促進することは適當したるものといつてよいであります。

尙、此の繩が相當強いものであることを要すると共に、その強い繩を他の方面に利用し得ることを見逃してはならない。即ち、繩跳用の繩を一本なり二本を相當しつかりしたものに結付け、その繩の端を持つて漸次結付けた元の方へ繩を手繰つて行く時はほゞよい快感を味ひながら引く力を養ふことが出来るのであります。幼児達の好んで行ふものであるに違ひないと思ふ。しかし、現にかゝる工夫をして居るところは恐らく日本廣しに雖も、試みて居る人はないであります。

眞に子供のことを考へ、眞に國家の將來を憂ふる姊は此自然の遊びの効果を試して見られたらよいと思ふ。此の體育的意義については皆さんに考へて頂くことにませう。

洵に話らんことを述べましたが何卒、愚見を御ゆるし下され是迄述べましたことを年の暮に一切御忘れ下さることを希ひます。お忘れになつた大方は一度是非私の申述べましたことを讀返してからお忘れになつて頂きたいと思ひます。では時局下に於て可能な丈けのよいお年を迎へられる準備をなさつて下さい。(一六、一一、八)